

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年8月4日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	四万十町	代表者名	四万十町長 中尾 博憲
担当者部署	にぎわい創出課	連絡先電話番号	0880-22-3281
担当者役職	主事	担当者氏名	佐々木 啓人
住所	786-8501 高知県四万十町琴平町16-17		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	前回は引き続き、四万十町をワーケーション先進地へと導くためのご指導をいただいた。また、先進地の事例や細川様の活動事例等をご教示いただいたほか、今後のワーケーション受け入れ整備へのアドバイスと各施設の整備面での助言等いただいた。なお、各施設への助言については、丁寧な対応と積極的な提案を行っていただき、次の事業展開が見込めるアプローチが大変ありがたかった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年8月2日	9時00分	18時00分	60	480
3-2. 派遣場所	会場名	ホテル松葉川温泉		最寄駅	窪川駅
	所在地	高知県高岡郡四万十町日野地605-1		最寄駅からの交通手段	車 (こちらで手配し、アテンドします。)
	派遣形態	支援・助言 (実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	岩本寺、クラインガルテン、黒島、四万十町観光協会、海洋堂ホビー館	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	各施設のワーケーションを実施する際に必要な整備が不十分であること。また、本町としてワーケーションの体験メニューを未実施のため、課題を抽出しきれていないことと、メニュー開発に至っていないのが現状である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	町内の各施設のワーケーションの受け入れ整備とワーケーションメニューを開発し、ワーケーション希望者の利用者増加を目指す。今後はワーケーションのモニターツアーを実施し、受け入れ体制の構築と、ワーケーション情報のプロモーション整備、補助制度の整備等を実施していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 現地視察 各施設に対するワーケーション受け入れの際に必要な環境整備についての助言 ワーケーションプログラムに必要なコンテンツに対する磨き上げに係る助言 ワーケーション整備に係る補助金の助言 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設やワークスポット等のワーケーション拠点に必要な整備の内容 ワーケーション受け入れ整備のネクストステップ 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない各施設に対する助言
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	【持ち越し】 <ul style="list-style-type: none"> ワーケーションプログラムの造成についての方法 ワーケーションモニターツアーに関して 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演・セミナーは実施していないためアンケートは未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑥その他
事業の最終的な目指す姿	年度内でのワーケーション整備を少しでも進めるために、当町における補正予算計上時にワーケーション整備に係る事業の予算付けを要望していく。そして、本町がワーケーションの聖地となるよう目指すとともに、新たな旅のスタイルのニーズに合わせたコンテンツを磨き上げていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

